

氏名	近 藤 忠 亮		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	甲 第 7 号		
学位授与の日付	昭和34年3月31日		
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条1項該当)		
学位論文題目	尿中 Bilirubin に関する研究		
論文審査委員	教授 小坂淳夫	教授 水原舜爾	教授 平木 潔

学 位 論 文 内 容 要 旨

直接 bilirubin の本態については未だ一定の結論がなく不明の点が多い。先ず Ion 交換樹脂使用による尿中直接 bilirubin の分離精製法を検討し、次でその本態を追求して直接 bilirubin の本態は bilirubin glucuronide であるとする Billing 一門, Talafant, Schmid, Watson らの説が必ずしも普遍的であるとは考えないことを明かにし、更に直接 bilirubin の性状を有し chloroform 溶解性を示す bilirubin の本態を追求し、bilirubin と胆汁酸塩との分子化合物であることを明かにし、教室山本の説は生体内でも立証された。生体内直接 bilirubin は単一物質でなく山岡・小坂らの出張が正しいことを明かにした。

論文審査の結果の要旨

近藤忠亮提出の「尿中 Bilirubin に関する研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。直接 bilirubin の本態については未だ一定の結論がなく不明の点が多い。近藤はまず Ion 交換樹脂使用による尿中直接 bilirubin の分離精製法を検討し、次でその本態を追及して直接 bilirubin の本態は bilirubin glucuronide であるとする Billing 一門, Talafant, Schmid らの説は一部の直接 bilirubin の本態を明らかにしたものに過ぎないことを証明し、更に直接 bilirubin の性状を有し、Chloroform 溶解性を示す bilirubin の本態を追及し、bilirubin と胆汁酸塩との分子化合物であることを明かにし、生体内直接 bilirubin は単一物質でなく、山岡・小坂らの主張が正しいことを明らかにした。

以上の研究は生体内直接 bilirubin の本態を明確にし、加えて一新直接 bilirubin 型を分析分離したもので、学術上新知見を加えたというべく、医学博士の学位を授与するに値するものと認める。